

株式会社アマミファッション研究所

平成 25 年度 補正予算事業

黒糖焼酎もろみ由来化粧品原料の量産化 及び高品質化製造技術の確立

独自開発した化粧品原料「黒糖もろみエキス」は、現在、研究室レベルの生産をしており、年間の製造量が少なく、高コストである。自動化できる仕組みを構築し、装置を導入することで、コスト削減と安定した品質の製品の量産化技術を開発する。



あま肌スキンケアシリーズ

事業のきっかけや目的

Motivation

平成12年頃から黒糖焼酎粕の高度利用について産学官で研究を行った結果、機能性化粧品原料「黒糖もろみエキス」の開発に成功し、独自の基礎化粧品を商品化・事業化した。同エキスは市販の抽出装置では製造できないため、手作業で行っているが、年間の製造可能量は約50kgと少ない。従来から要望の高かった日焼け止め商品の開発に成功し、早急な増産体制が必要である。

事業の取り組み内容と成果

Progress

黒糖焼酎粕から「黒糖もろみエキス」を抽出精製する装置を特注し、導入した。これにより、手作業をすべて自動化し、量産化にも成功した。年間生産量は6倍に拡大し、製造コストは1/3程度に圧縮する見込みとなった。連続自動運転ができることを確認し、試作した黒糖もろみエキスの成分濃度の測定から、従来の手作業で精製したものと遜色ないことが確かめられた。

株式会社アマミファッション研究所の思い



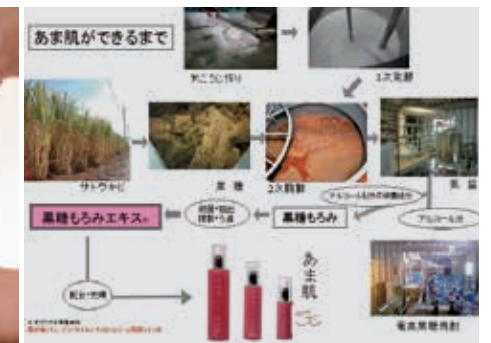
グローバル化が進む中、ピカッと光るユニバーサルカンパニーを目指し、奄美大島の地域資源、伝統技術を国内外に向け発信し、社会に貢献できる人づくり、物づくり、そして事づくりを通じ、国内外の需要に向け必要とされる企業となり、地域資源の活用、地域の活性化、雇用創出を実現すべくチャレンジしたいと考えております。



開発風景



使用例



製造工程

事業化に向けての今後の取り組み

Future

平成23年より販売開始し、県の特産品コンクールで奨励賞を受賞した、あま肌スキンケアシリーズ。これまでは独自に開発した保湿成分の黒糖もろみエキスが量産できなかったが、この事業により導入した精製装置により、量産可能体制が整う見込みである。

今後、より多くの方に愛される商品として、より一層、販路開拓にも力を入れていきたいと考えている。



企業の生い立ち

奄美市（当時名瀬市）の誘致企業として平成8年に創業した。

一貫して奄美の地域資源活用にこだわり、常に新しい価値を提供できる企業として繊維、染色分野において蓄積された技術をもとに未利用天然資源を活用した美と健康、癒しをテーマに、世の中のお役に立てる商品の研究開発を推進していきたいと考えている。



会社外観

事業者	株式会社アマミファッション研究所
代表者	代表取締役 吉川 友嗣
設立年月日	平成6年12月1日
所在地等	〒894-0773 奄美市名瀬朝戸269-3 TEL 0997-54-9181 FAX 0997-54-9182 E-mail info@amahada.com URL http://www.amahada.com
事業の種類	ものづくり技術
資本金額	1,000万円
従業員数	12名
業種	繊維工業、化粧品製造業